

弘大・岩木健康増進プロジェクト健診

# 寿命延伸へ16年目始動

健康データを集積し、寿命戻上の施策に生かす弘前大学の「岩木健康増進プロジェクト健診」（岩木健診）が17日、弘前市岩木文化センターあそべーるで始まった。16回目となる今年は、新型コロナウイルスの影響で、例年より約3カ月半遅らせ、対象を例年の約半数の約540人に絞って実施した。関係者は「健康寿命延伸へ向け、プロジェクトを継続することが大切」と語った。

（菊谷賢）

## 感染対策 対象例年の半数に



感染防止を強化した今回の健診は25日まで、9日間実施する。スタッフ約130人はガウン、マスク、フェイスシールドなどを着用。予約制で、15分ごとに6人入館するようにし、受診者同士の間隔を空けるなど、「3密」回避を徹底した。検査は約千項目で、血圧、内臓脂肪、骨密度などのほか、睡眠、喫煙・飲酒、運

感染防止策を徹底して実施した岩木健診17日午前

動など生活習慣の聞き取りも実施。味覚や肌のチェック、車の運転状況など一般の健診で行われない調査も行った。

第1回から参加している三上修さん(67)は「毎年、自分の健康状態を確認できるので助かる」、齋藤花居さん(47)は「肌や腸の状態などの検査が興味深い。コロナ対策に万全を期してやってくれるのはありがたい」と話した。

同大の中路重之特任教授は「全国的に注目されるプロジェクトを継続することは大事。岩木の人が毎年楽しみにしている健診ができてよかった」と話した。

岩木健診は2005年度からスタート。毎年5月末から10日間実施している。健診をベースとした健康プロジェクト「弘大COI」は18年度、内閣府などが主催する「第1回日本オープンイノベーション大賞」を受賞。本年度、「イノベーションネットアワード2020（地域産業支援プログラム表彰事業）」の文部科学大臣賞に輝いている。